

岡山プライマリ・ケア学会会報 第三二号 令和三年五月

第31号の発刊が遅れて

大変失礼いたしました。

岡山プライマリ・ケア学会総会 並びに第27回学術大会の報告

新型コロナウイルス (COVID-19) 大会

With コロナ時代における保健・医療・

福祉・生活支援の目指すべき方向

〜地域住民のニーズにいかに対応するのか〜

令和3年3月28日 (日)

9時30分〜16時00分



令和2年の開催が、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で延期となり、令和3年に改めて、第27回学術大会を開催しました。ケアキャビネットを活用した初めての開催でしたが、大きなトラブルもなく開催することが出来ました。会員の皆様方のご協力に感謝申し上げます。



記念講演 I
ACP:人生会議でこころのケア
飛騨千光寺 住職 大下大圓



まず、死生観は西洋的なイメージで生死観は生死一如(しょうじいちによ)と共通して東洋的なものです。

ACPにとって苦悩に寄り添うことが大切で、人は多くの苦しみの中から成長する存在であり、人の死の場面では家族や友人が大事です。エンドオブライフの時期にACPは必要で、ACPのポイントは、本人の思いを徹底して聴くことと、本人の希望を最大限に支えることを伝えることです。

医学には4つの使命があり、

1. 生命の延長
2. 苦痛の除去
3. リハビリテーション
4. 死を迎える医学(死学)のうち、

死学が我が国では十分ではありません。

スピリチュアリティには大きく2つに分類する考え方があり、

①「内的自己への関心」で自己の生きる意味、目的、価値の探求、自己の人生の受容など、

②「外的他者(大いなる存在)への関心」で超

越者(神・仏)・絶対者への希求、自然の威力・偉大さへの感動、宇宙思想への信念などがあります。

ACP における「QOL(Quality of Life)が大切な要素になります、その時に

QOD(Quality of Death)「尊厳ある死」や「その人らしい死」が重要で、QOLとQODは関連し、連続関係にあります。

「死は敗北ではなく、光に導かれて苦しみから解放されることです。」臨床宗教師とは宗教的場所(寺や教会など)ではなく、公共空間で心のケアを行う宗教家であり、宗教的場所では、教え導くのが、公共空間では寄り添う行為となり、両者に共通していることは祈りが行われます。

死生観を語り合う文化が大切で、そこは決してクライアントや家族を傷つけることにはならず、むしろ重要な信頼関係を樹立します。演者はこれまでの経験より次段階内4つの死生観を基にクライアントや家族と

NBM(対話療法)を実践して来られています日本人の過半数が次段階内の①または②であり、唯物論的な人は①または③が多く、

ACPを行うケアラー(ケアを行う人)にとつて、この4つの死生観を理解し、自分自身のスピリチュアリティや死生観を確立することが、クライアントや家族を理解でき自然に向き合えるために最良の方法だとのことです。

① いのちはこの世限りで、あの世や魂などはない

② 肉体とは別に死後生(魂や意識体)があつて輪廻(生まれ変わり)をする

③ 子ども、孫のDNAや遺伝子に受け継がれていればそれでよい

④ 自己を超えて大きな生命体(サムシンググレイト、神、仏、天、先祖)あるいは大自然、宇宙性に融合、統合する

この度、大下先生の講演を拝聴させて頂き、死と関わる医療・介護の関係者にとつて、スピリチュアリティと死生観を理解し、自分のものとした上で「死」の話題を避けることなく、患者、家族に寄り添って「死」について傾聴し、語る事が重要であることを強く認識できたすばらしいお話でした。

(文責 佐藤 涼介)



記念講演Ⅱ

救急の現場からコロナ時代の

ACPを考える

岡山大学病院高度救命救急センター

教授 中尾 篤典



「With コロナ時代における
保険・医療・介護・生活支
援の目指すべき方向」地域
住民のニーズにいかに応

えるか」と題した第27回学術大会の記念講演にて、岡山大学病院高度救命救急センター教授中尾篤典先生の「救急の現場からのコロナ時代のACPを考える」というご講演の座長を、仰せつかりました。私は、普段は高齢者のACPには関わっていません。高齢者のACPは、長い時間を掛けて実行していきま

す。救急現場でのACPは、短時間で患者の家族との信頼関係の構築と即座の判断が必要であり、とても大変な事であるのではないかと、推察をしていました。ご講演は、外出や遊戯活動に対しての自粛が求められるこの時期に、カラオケに行き新型コロナウイルスに罹患し、アンケートにも答えない「モンスター高齢者」は、本当に困るといってお話から始まりました。その方々が自粛していれば、コ

ロナ患者の治療ベッドが不足しない可能性がありません。現在は、療養のホテルは満室です。療養のホテルからの救命救急センターに搬送されて来る患者も増えていくとのことです。

「モンスター高齢者」に憤りを感じました。

教授のお話を聞いていると、このままコロナ

患者が増え続けていくとトリアージも始まる

のではないかと不安になると同時に「感染列

島」という映画を思い起こし背筋がぞつとし

ました。次に、自殺者の方のACPについて

です。自殺者は、心が病んでいるため救命に

関してどう判断するべきかが困難であるが、

勿論全力で救命をするべきであると話されま

した。若い女性の自殺者の家族に臓器提供を

提案した時に、「娘の臓器の提供によって、

新しい命の息吹を感じた事によって安心しま

した。」という家族の感動的な実話を熱弁さ

れました。このお話を聞いて、目頭が熱くな

ったのは私だけではないと思います。会場が

シーンとなりました。そして、次は「カリフ

オルニアから来た娘症候群」の教授が経験な

さった実例でした。カリフォルニアから来た

娘症候群 (The Daughter from California

syndrome) とは、病気の患者の終末期に故

郷を長く離れていた家族が突然現れ、これま

で近隣の家族と医師が時間をかけて話し合い

決定した方針に異議を唱えたり、延命治療な

どの過度な対処を主張する、という事象のこ

とです。皆様もきっとそのような経験が、おありでしょう。それを救命救急での現場でされると、非常に困ると思います。そのような時に、具体的にどのように対処したかの事例をお聞きする事ができました。救命救急現場でのACPがどれほど困難であるかという中尾教授の熱意のこもったご講演が、心にしみ

(文責 福嶋 裕美子)



研究発表報告

14 題の発表から抜粋



「いつまでも自分の足で歩こう」

～新しん健康体操で

元気になるぞーっ！おーっ！～

介護老人保健施設

ニューエルダーセンター

川上 幸恵

【はじめに】

新しん健康体操は、①猫背の予防・改善②腹筋の強化による腰椎の負担軽減③大腿四頭筋の強化により変形性膝関節症を予防・改善し、ロコモティブシンドローム（運動器症候群）、さらに運動の過程での精神統一や笑いの効果を精神の活性化や認知症の予防・改善につなげる。また、グループワークによるコミュニケーションづくりの促進も目指した体操である。新しん健康体操の結果を調査・検討したので以下に報告する。

【新しん健康体操の内容】

しっかりと呼吸を行いながらストレッチや体幹、上肢、下肢の 90° を行う。椅子に座り背筋を伸ばして前後・左右にストレッチを行ったり、シュツシュツと短く強く息

を吐きながら腹筋に力を入れ行う。他にも立って椅子を持ちながら、つま先立ちや片足立ちを行い、最後はみんなで大きな声で笑って終了している。

【対象者】

対象は、当施設の通所リハビリテーション（以下通所リハ）利用者。そのうち選択プログラム（約30分間）で新しん健康体操を週2回以上選択し、3か月以上参加した28名（男性9名、女性19名）とした。平均年齢は84.5歳。要介護度別では、要支援1・2（13名）、要介護1・2（15名）評価期間…令和元年5月～7月

【方法】

当通所リハで、選択プログラムの時間に新しん健康体操を実施。評価項目は

- 1… timed up and go test（以下 TUG）、
 - 2… 10 m 歩行、
 - 3… 開眼片足立ち、
 - 4… 握力、
 - 5… HDS-R、
 - 6… FIM、
 - 7… 日常生活面での変化（腰の痛み、トイレ動作、摂食、洗顔、衣服着脱）を利用者に聞き取り調査をした。
- 【結果】
- 1… TUG（改善… 11名・維持… 4名・悪化13名）

2… 10 m 歩行（改善… 10名・維持… 11名・悪化… 7名）

3… 開眼片足立ち（改善… 5名・維持15名・悪化8名）

4… 握力（改善… 9名・維持… 12名・悪化… 7名）

5… HDS-R（改善… 15名・維持… 2名悪化… 11名）

全評価項目で維持・改善者が悪化者より多く、特に10 m 歩行、握力、HDS-Rでは悪化者より改善者の方が多くみられた。FIMの点数は全員維持であった。日常生活面の聞き取り調査では維持・改善者が悪化者よりも多くみられた。聞き取り調査では「軽い運動なので続けやすい」「家では大きな声を出せなかったり、笑ったりすることが少ないから良い」「みんなでするから声を出しやすい」等精神面の活性化にも繋がるコメントが多くみられ、徐々に大きな声も出るようになった。また、体操を自宅でも行えるようにプリントを配布した。取り組めていない方が多かったが1割程の方は「家でもできる範囲でやっている」との声も聞かれた。

【まとめ】

今回、新しん健康体操がロコモティブシンドロームの予防・改善に加え、精神の活性化に繋がったことを確認することができた。そして、集団で身体を動かすことの楽しさによ

るコミュニティづくりがみられた。多くの利用者が自宅でも運動が取り組めるようになるには伝え方の工夫や家族との連携も必要になると考える。利用者自身が日常生活面で変化を感じられ、その人らしく生き生きとした在宅生活が継続出来るようにこれからも取り組みたい。また、当施設の介護予防の取り組みとして新しく健康体操を地域の高齢者に向けて週1回行っていた。現在、開催は出来ていないが状況が落ち着いたら地域の方々の1つのコミュニティの場として再開できたらと考える。

いつまでも自分の足で歩こう

～ 新しく健康体操で元気になるぞーっ! おーっ! ～



介護老人保健施設ニューエルダーセンター
作業療法士 川上 幸恵

【聞き取り調査】

- ・「軽い運動なので続けやすい」
- ・「家では大きな声を出せなかったり、笑ったりすることが少ないから良い」
- ・「掛け声で元気がでる」など精神面の活性化にも繋がるコメントがみられた



「看護学生の指導を通して 診療所看護師の魅力を再発見」

哲西町診療所 沖津恭子

岡山県新見市哲西町は岡山県の北西部に位置し、2021年1月現在で人口は2310人、高齢化率は46.9%である。

哲西町診療所は2001年に開所し、現在医師3名、看護師5名、事務3名で町内唯一の医療機関として哲西町地域を支えている。

当診療所は看護学生の実習受け入れを2003年から開始し、A大学だけでも年間約40名を1～2日の日程で2～3名ずつ受け入れている。診療所看護師は多種多様な業務があり、看護学生の受け入れは負担のようにも思えた。しかし、当診療所に再就職し看護学生の指導にも携わり、診療所看護師の魅力の再発見に繋がったので報告する。

私の再就職の経緯は一旦退職したのち、再度、地域医療に携わりたい、また診療所スタッフとともに住民を支えたいという思いが強くなり、2018年に再就職させていただいた。みなさんが温かく迎えてくださり感動した。

ふりかえると、初めて診療所に就職した

とき、それまでの病院勤務の復習のように軽い気持ちで働き始めた。しかし、実際働いてみるとそれまで経験していないことも多く「新たな責任とやりがい」があった。例えばCT・X Pのセッティングや処方薬の準備、更には事務の手伝いや清掃など、今までは多職種に任せていたものを看護師で行わなければならぬ。このことにより、もちろん責任も感じるが、深く一人ひとりの病状が把握でき指導の幅も広がる。また、診療所はのんびりしたイメージもあるかもしれないが、緊急性のある患者さまもしばしばで、迅速な対応も必要だ。そして、訪問診療では生活状況がよく理解でき、多職種との連携の必要性も強く感じられる。



このような業務の中、診療や訪問先で処置や検査の合間に患者さまと交わす会話は私の糧となっていた。季節や田畑の話、家族や地域の話は不慣れだった私にとって地域や住民に愛着を持たせてくれるものだった。そして、高齢の方は若い頃の大変だった話、輝いていた時代の話、また悩み事や心配事、その人々の思いや背景が関わりを通して理解もできる。それらの会話の中で「私はどこへも行きたくない。ここでずっと世話になりたいんよ。」寂しい話かもしれないが「診療所に来て今日初めて笑ったよ。一人暮らしたからねえ。」といった話を聴くと「診療所は単に医療を提供する場だけではなく、人生の一場面を支えさせて頂いている。」そんな気持ちも湧いてきた。このような経験から、診療所看護師の魅力・やりがいを見守る学生にも感じてもらえたと実習指導に生かしている。

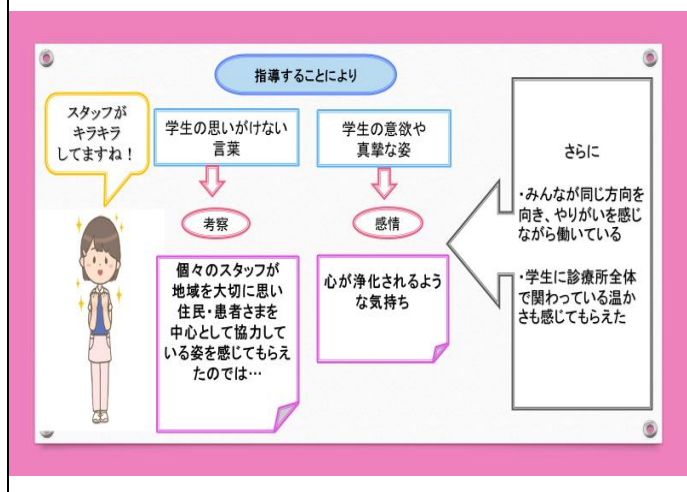
学生実習では担当部署の看護師からの説明もあるが、それも1、2日の実習では体験できないことについては、指導担当看護師が午後より業務の間をぬって1時間程度かけ、スライドを用い講義も行っている。その内容は業務の流れや注意点だけではなく、主に外来診療・在宅医療・地域連携のなかで診療所看護師としての関わり方や、工夫している点、そして解決困難だった事例なども交え伝えられている。さらに「住民を支えているだけではな

く、住民からも支えられている。」との思いもあり、さらなるやりがいにつながっていることも伝えている。また、医師からの講義もあり、診療所の検査機器などハード面が整備された経緯や、へき地診療に対する熱い思いを学生に伝えている。事務も含めスタッフ全員で学生を見守り、指導・教育に携わっている。

診療所実習に対する学生のアンケートを実習前後で行っている。2019年度では対象学生は35名であった。提出の強制もなく個人の特定のないことも学生に伝えている。実習の満足度はおおむね高く、一番満足が得られたのは看護師の講義だった。実習前のイメージは軽い風邪ひきがくる程度というものだったが、実習後の感想では「医療だけでなく生活も支えている。」「在宅で暮らすことの素晴らしさを感じた。」「地域の連携が実習を通して観ることができた。」「やりがいが大きいです。」などがあった。実習前のアンケートで将来の勤務先希望の優先順位は、多くの学生が大病院や中小病院や保健師を希望。一方診療所希望はゼロだった。しかし「診療所で働いてみたいか」の問いでは実習前は35名中21名、実習後は33名中28名と25%の増加があった。大多数の学生が経験を積んでからという結果だったが、うち1名は卒業すぐにも働きたいという希望のもてる結果がでた。

以前にも、卒業にすぐに診療所勤務希望の学生がいた。それらの意志を無駄にせず、新卒者でも受け入れるようにしたいとの思いから哲西町診療所では、2021年度から新卒者なら3年過程の「診療所看護師養成プログラム」を開始する。これは新卒者でも診療所でのスキルが得られやすいように総合病院と連携して行うプログラムである。こういったプログラムを活用して新卒者の受け入れが出来ればと思う。

私が学生から言われて忘れられない言葉は「このスタッフはみんなキラキラしていますね。」と思いがけないことを話してくれた。実習が始まる前には不安そうな表情だったが、実習終了際には輝くような笑顔で話された。



このことは「個々のスタッフが地域を大切に思い、地域に関わる楽しさや、住民・患者さまを中心としながら協力していく姿を感じてもらえたのでは。」と思えた。私は学生の学ぼうとする姿勢や患者さまに対する真摯な姿に、こちらのほうこそ心が浄化されるような気持ちになった。また、スタッフの指導する姿を観たり、自分自身も学生への指導を通して言語化することで、みなが同じ方向性を持ち、それぞれがやりがいを感じて働いていることも改めて気づかされた。また、学生の指導に診療所スタッフ全員で関わっていることも、当診療所の温かさと感じてくれる学生も沢山いた。今回、診療所に再就職するにあたり、診療所の大きな役割に「育てる」ということがあることに気づかされた。このことは、モチベーションの維持、自己成長にもつながる。また、次世代の地域を担う人材を育て、未来へのバトンを渡すことの必要性も感じている。

このように、学生指導を通し多くの気づきがあり、診療所看護師の魅力を再発見できた。これからも診療所看護師として働くことに誇りを持ち、学生にも素晴らしさを伝えていきたい。



岡山県医師会 会長賞

副賞授与

飛島地区ケアキャビネット

活用 協力隊へ



令和2年12月に受賞した「岡山県医師会会長賞」の副賞（20万円）を協力隊の堂野代表に手渡しました。今後の活動に活用いただけますことを祈念いたします。



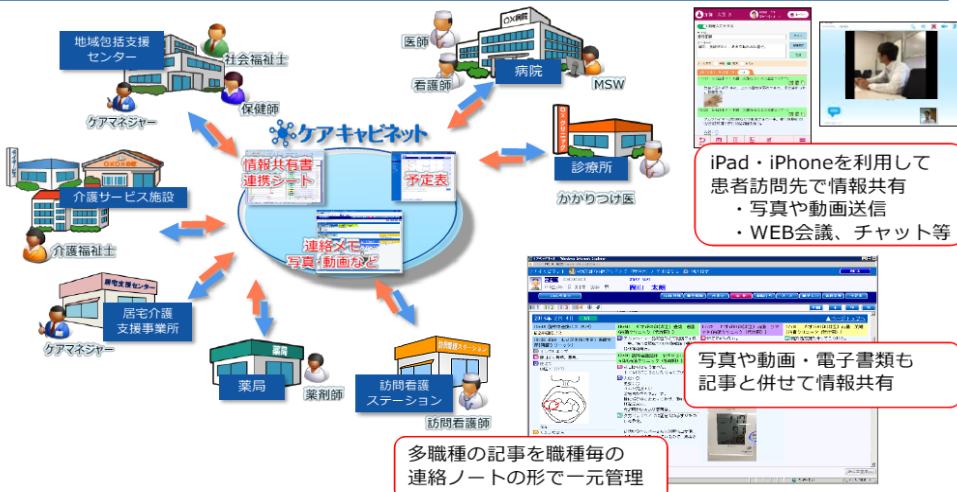
【副賞 活用内容】

- ① 晴れやかネット補助ツール iPad
 - ② I 顔認証温度感知カメラ（2台）
 - ③ パルスオキシメーター
 - ④ 上腕式血圧計（2台）
- 飛島診療所・飛島公民館で保管・管理・活用



1. ケアキャビネットについて

- ・平成25年より岡山県、岡山県医師会、岡山県病院協会の三者協働で設立した、「一般社団法人医療ネットワーク岡山協議会」が運営しています。
- ・日々のケア情報・画像・動画・各種書類等の療養情報を多職種間でリアルタイムに情報共有を行う**クラウド型多職種連携システム**です。



多職種連携情報共有ツール
 ケアキャビネット
 WEB会議システム



2. WEB会議システムについて

- ・ケアキャビネットの利用者は、利用者ID情報と連携してWEB会議システムが利用可能です。
- ・施設で1名以上利用者IDを持っていれば、会議の参加・主催者としての案内が可能です。
- ・Windows/パソコン・iPad・iPhoneで利用可能です。
- ※ソフト(Canon製 IC3のインストール【無料】)が必要です
- ※Mac/パソコンは非対応です
- ・「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」に対応している環境となるため、退院時のカンファレンス等、**診療報酬・介護報酬算定にも活用可能**です。
- ・リハビリの担当者会議や、転院先病院と患者家族との面談等でも活用しています。

【パソコン 利用時】

【iPad・iPhone 利用時】

退院時カンファレンス関連の診療報酬・介護報酬

医療機関	退院時共同指導料 2	400点
	3者以上が共同指導する場合	2,000点加算
	在宅医が参加する場合	300点加算
ケアマネジャー	退院・退所加算 (カンファあり)	連携 1回 600単位 連携 2回 750単位 連携 3回 900単位
在宅医等	退院時共同指導料 1	在宅 1500点 それ以外 900点
訪問看護ステーション	退院共同指導加算	8,000円(医療) 600単位(介護)

3. WEB会議へのゲスト参加機能について

- ・WEB会議を予約する際に、ゲストの招待案内(招待メール又はゲスト用URL)が可能です。

WEB会議で会議室予約を取る際に、ゲスト参加としてメールアドレス・参加者名を登録する事で、ケアキャビネットの利用者IDを持っていない人でも招待した会議のみWEB会議に参加してもらえます。

ゲスト参加者のメールアドレスを登録する事でWEB会議に招待する事ができます。

令和3年度会費納入のお願い

会報と併せて、会費納入通知書を同封しております。令和3年度の会費納入をお願いいたします。

編集後記

この度の第31号会報誌が大変遅くなり申し訳ありませんでした。

今回は、第27回の学術集会の講演や研究発表を紹介させていただいています。初めてのリモート開催でしたがいかがでしたでしょうか。

先日、コロナ禍のただなかで東京五輪・パラリンピックが開幕し、自粛生活の中、久しぶりにわくわく感や感動を感じました。

厳しい状況は続いています。新型コロナウイルス感染拡大が一日も早く終息し平穏な日々を願います。

編集委員

- 佐藤 涼介
- 菅崎 仁美
- 丸田 康代
- 森 貴美

編集・発行

岡山プライマリ・ケア学会 事務局

〒700-0024

岡山市北区駅元町19-2

(岡山県医師会内)

